

第3回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 平成25年9月26日(木)
2. 出席者 江原武一委員、前原金一委員
生田理事(教育)、宮崎理事(総務)、伊豆蔵副学長(企画)、中谷副学長(研究)
陪席者 加藤副学長(国際交流・地域連携)

※ 会議成立定数に満たないため、懇談会として議事を進行した。後日、欠席者には資料持参のうえ、説明した後、9月30日までに委員全員から「書面議決票」により了承を得た。

3. 議 題

◎審議事項

- 1 資金の運用について(資料1)
- 2 事務取扱規則の一部改正について(資料2)
・国立大学法人奈良教育大学契約事務取扱規則

◎報告事項

- 1 10月以降の体制について
- 2 ミッションの再定義について(資料3)
- 3 平成26年度概算要求について(資料4)
- 4 平成24事業年度業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて(資料5)
- 5 教員養成高度化推進計画について(資料6-1、-2)
- 6 第3期中期目標及び計画の素案作成について(資料7-1、-2、-3、-4、-5)

4. 議 事

◎審議事項

- 1 資金の運用について
総務担当理事から、資料1に基づき説明があった。
主な意見は以下のとおり
○長期の債権は、リスクが高く、国債ならまだましであるが地方債、政府保証債には手を出さない方がよい。
- 2 事務取扱規則の一部改正について
総務担当理事から、資料2に基づき説明があった。

◎報告事項

- 1 10月以降の体制について
教育担当理事から、10月以降の体制について報告があった。
- 2 ミッションの再定義について
教育担当理事から、資料3に基づき報告があった。

- 3 平成26年度概算要求について
財務課副課長から、資料4に基づき報告があった。

- 4 平成24事業年度業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて
教育担当理事から、資料5に基づき報告があった。

- 5 教員養成高度化推進計画について
教育担当理事から、資料6に基づき報告があった。
主な意見は以下のとおり
○国際社会に対応できる人材育成のためには、英語で戦中戦後の歴史を正しく教えられる近現代史の教員を養成すべきである。

- 6 第3期中期目標及び計画の素案作成について
教育担当理事から、資料7に基づき報告があった。